

平成 29 年度総会および特別講演会のお知らせ

平素は防災研究の活動にご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
下記要領にて総会を開催いたしますので、ぜひご出席くださるようご案内申し上げます。
なお、特別講演会は防災研究会の会員以外の方も参加可能です。多数のご参加をお待ちしています。

記

日時：平成 29 年 6 月 13 日（火） 18：30～20：00
場所：日本技術士会近畿本部会議室

1. 総会 18:30～19:00

議案：第 1 号議案：平成 28 年度活動実績報告
第 2 号議案：平成 28 年度会計報告および会計監査報告
第 3 号議案：平成 29 年度活動計画
第 4 号議案：平成 29 年度予算
第 5 号議案：会計監査の選任

2. 特別講演 19:00～20:00（資料代 500 円、防災研究会会員は無料）

「地下水の動きと電磁波分析による大規模地震予測」 森川 薫 氏

3. 懇親会 20:00～21:30

会場の近くで開催（会費 3,000 円程度）

なお、総会成立には、正会員の 3 分の 1 以上の出席（委任出席を含む）が必要となります。
皆様方の多数のご出席を願うとともに、下記に出席の可否、および欠席の場合は委任状をいただきますよう宜しくお願いいたします。

6 月 3 日（土）までに、返信してください。

（連絡担当：南側幹事 minamigawa@etude.ocn.ne.jp FAX072-242-7179）

-----返信してください-----

○名前：
○総会出席：出席 欠席（いずれかを選んでください）
※欠席の場合は以下の委任状に必要事項を記載して下さい。
○特別講演：出席 欠席（いずれかを選んでください）
○懇親会：出席 欠席（いずれかを選んでください）

=====【委任状】=====

私は、公益社団法人日本技術士会近畿本部（登録）防災研究会、
平成 29 年度総会における議決権を に委任いたします。
（未記入の場合は議長に委任されたものといたします）

氏名： 平成 29 年 月 日

=====

近畿本部（登録）防災研究会 会長 森川勝仁
（連絡担当幹事：南側晃一）

特別講演

「地下水の動きとGPS／電磁波分析による大規模地震予測」

森川 薫
技術士（上下水道部門）



【略歴】

- <氏名> 森川 薫 昭和17年3月5日生
大阪府摂津市千里丘1丁目14番19号
- <学歴> 昭和35年3月 大阪市立都島工業高等学校土木科卒業
昭和39年3月 日本大学工学部経営工学科土木専攻卒業
- <資格> 昭和53年1月 技術士水道部門（上水道）取得 登録番号12131
平成15年11月 APECエンジニア 登録番号JP-1-002191
- <職歴> 昭和59年12月 （株）森川鑿泉工業所代表取締役
昭和63年10月 摂津市長就任4期16年
平成12年5月 大阪府市長会会長1期2年
平成17年6月 NPO地震予知ネット理事長就任
平成27年12月 （一社）地震予兆研究センター理事就任

【講演内容】地下水位・水温の異常値から2～3日以内に地震発生確率80%以上の実績と併せ、GPS（電子基準点）設置による地殻変動と宏観現象（動物等の異変）等のコラボで地震発生場所と時期及び地震の規模を特定し、大規模地震の予測に挑戦。地震予知に成功したと言えるのは、事前に被災地の住民に避難勧告を行い、被害を最小限に食い止める事が出来た時にのみしか言えない。所詮地震を止める事が出来ない事から、自らの命と財産は自らの危機管理のもとで、災害を最小限に留める事を常日頃から、自主防災訓練の参加等・啓発活動にも注目し、建物等にも耐震対策を施し、災害に備える心構えを持ち続ける事が肝要である。

レ ジ ム

技術士会H29年特別講演

南海トラフ巨大地震を予測

地下水の動きとGPS/電磁波分析による「大規模地震予測」

2017年6月13日

(一社)地震予兆研究センター 理事

NPO地震値ネット理事長 森川 薫

技術士(上下水道部門)

§ 1 巨大地震発生メカニズム(地震研究の最前線ニュートン別冊参考)

- 1) 巨大地震の多くはプレート境界で発生する。
1952年カムチャッカ地震M9.0
1957年アリューシャン地震M9.1
1960年チリ地震M 9.5
1964年アラスカ地震M 9.2
2004年スマトラ島沖地震M 9.2
2011年東北地方太平洋沖地震M 9.0
- 2) 日本列島はプレートの移動によって歪が生じ、地震の原因。
- 3) 東北地方太平洋沖地震の起因は「アスペリティ」による発生源。
- 4) 南海トラフ巨大地震と内陸地震の相関関係について
- 5) 南海トラフ巨大地震と津波の実績
- 6) 見えてきた実用的な地震予測
- 7) 海底の動きから地震発生場所の推定が可能に
- 8) 地下の水圧測定から地震予測

§ 2 地下水位の異変から地震予測

摂津市水位・水温・茨木市水位・滋賀県愛知郡鯉江水位・鳴門大麻水位
・琵琶湖大溝水位の被圧地下水位の異変から地震予測。

20年の観測実績から、2011年東北地方太平洋沖地震及び2016年熊本地震の検証を紹介。

§ 3 国の地震予測体制の実態

世界の地震学者は真摯に地震予測に取り組んでおられますが、
中国をはじめアメリカに於いても地震情報が的中する時もあるが殆ど外れている。
日本の地震学会の主流派は、地震予知は不可能と公言し、地震予知研究はナンセンスとされ、
予算も殆んど計上されていない。

§ 4 (一社)地震予兆研究センターの今後の地震予測体制について

今年の3月に神戸市国際会議場・東京都消防会館・高知県立県民文化ホールでシンポジウムを開催し、
それぞれ約300人の参加者があり、特に高知会場では南海トラフ地震が必ず来ると信じ、市民は
高知市の3/1が津波の被害に遭う事を認識され、過去にも慶長地震で高知県では約十数メートルの
津波を経験する中、現在でも地域で3階建て以上の建物が少なく、高台に避難するにも最低30分は
かかる事から参加者は非常に熱心に受講され、悲壮感がひしひしと伝わってきました。
このシンポジウムを機に、出演者の20年以上民間で研究され観測実績を持つ、
地下水位の異変/GPS/電磁波/宏観現象等から地震予測されているグループの協賛を戴き
(一社)地震予兆研究センターに相集い地震予測に挑戦する事を決意。
2年後には、天気予報と同様に前日から1週間以内の地震予測が出来て配信できるようにしたい。
(一社)地震予兆研究センター(EPRC)は、ESA(ヨーロッパ宇宙機関)、NASA、気象庁、産総研等の
公的機関の公開データを利用した3次元での統合解析をし、地震予測に挑戦しています。
今年の7月初旬にインドネシアの気象庁はじめ、バンドン工科大学等関係団体との
地震予測システム共同研究の調印式に臨みます。

§ 5 質疑応答

平成 29 年度近畿本部（登録）防災研究会「特別講演会」参加申込書

日 時	： 平成 29 年 6 月 13 日（火） 19:00～20:00 18:30～19:00 防災研究会総会が開催されます。
場 所	： 日本技術士会近畿本部会議室
内 容	： 「地下水の動きと電磁波分析による大規模地震予測」 森川 薫 氏 技術士（上下水道部門）
参加費	： 500 円（防災研究会会員は無料）
懇親会	： 特別講演会終了後、会場の近くで開催（会費 3,000 円程度）
申込み期限	： 6 月 3 日（土）

平成 29 年度近畿本部防災研究会特別講演会に参加申込みします。

平成 29 年 月 日

氏 名	
技術士部門	
勤 務 先	
電話番号	
FAX 番号	
メールアドレス	
懇 親 会	参加する 参加しない

【申込み先】公益社団法人日本技術士会近畿本部（登録）防災研究会

E-mail : minamigawa@etude.ocn.ne.jp

FAX : 072-242-7179 （担当幹事：南側晃一）